

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～9組

使用教科書：（高等学校 標準言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】言葉によって、自らの考えを効果的に表現するための力を育む。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考能力、共感性、コミュニケーション能力を伸ばし、自らの考えや思いを広める力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって我が国の言語文化の担い手であるという自覚をもち、言葉のもつ価値を認識する。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			語 文	書 読	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・これまでの経験と、言葉がもつ力とを、関連させて考える力を育む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉に対する自らの考えを持ち、それを表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らが言語文化の担い手であるという自覚を養うとともに、言語文化に親しもうという感覚を身に付ける。	・指導事項 言語文化に親しむ ・教材 p.24～25 古文の世界へ ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクション シートの活用	○			【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・自らの社会生活に根付いている国語の知識や技能から、言語文化についての巻を持ち、それを周囲に効果的に伝えている。 【学びに向かう力、】 ・言語文化に親しもうとしている。	○	○	○	1
	B 単元 【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いの決まりを理解し、古文を読むための力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典作品が持つ価値について、本文の性質や特徴から読み取る力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史的仮名遣いを理解し、古文作品の面白みに触れようという感覚を身に付けさせる。	・指導事項 古典作品（古文）に親しむ 歴史的仮名遣いの決まりを理解する ・教材 p.26～27 児のそら寝 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクション シートの活用		○		【知識及び技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさや価値について、積極的に読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 ・助動詞などの古文を読むために必要不可欠な文法事項の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同一出典の作品を読み比べることで、それぞれが持つ価値や特性を理解し、それを言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に付けさせる。	・指導事項 古典作品が持つ価値を考える 古典文法の決まりを理解する ・教材 p.32～33 絵仏師良秀 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクション シートの活用	○			【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、それぞれの価値について自らの考えを持ち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らの考えを進んで発表し、また、他者の考えを共有することで学びを深めようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		○	○		1	
2 学 期	D 単元 【知識及び技能】 ・文中で用いられている難語を理解することで、語感を磨くとともに語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の叙述を読み、話の展開や面白みを理解することができる。 ・同一出典の作品を読み比べることで、それぞれが持つ価値や特性を理解し、それを言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に付けさせる。	・指導事項 古典作品が基となった小説文を読み、言語のつながりを考える ・教材 p.204～219 羅生門 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクション シートの活用	○	○		【知識及び技能】 ・文章中で用いられている語句の意味や成立を学ぶことで、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えながら、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・本文とその基となった古典作品との比較を通して、その共通点や相違点を考え、他者と共有することで学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		○	○		1

3 学期	E 単元 【知識及び技能】 ・和歌、短歌、俳句それぞれの特徴や特有の表現技法を理解できるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・限られた表現の中から込められた思いを読み取る力を育むとともに、自らも限られた表現を用いて思いを込める方法を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し、込められた思いを類推したうえで、自らの作品にも同様の思いを込めようとしている。	・指導事項 和歌・短歌・俳句を通して、語感を養う 和歌・短歌・俳句を作る ・教材 p. 78～96 和歌 p. 264～280 短歌と俳句 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクションシートの活用	○	○	○	○	○	8	
	定期考査		○	○	○	○	○	1	
	A 単元 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を考えさせる。 ・漢文の訓読に必要な知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化と漢文との関係性を考え、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて考える力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らが言語文化の担い手であるという自覚を養うとともに、言語文化に親しもうという感覚を身に付ける。	・指導事項 古典作品（漢文）に親しむ ・教材 p. 132～135 漢文の世界へ p. 136～143 漢文の基本構造と訓読 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクションシートの活用	○						3
	A 単元 【知識及び技能】 ・故事成語から古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・故事成語の由来を調べ、調べた内容を工夫して伝える力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事成語の作品に表れているものの見方や考え方を捉え、自分なりに内容を解釈する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らが言語文化の担い手であるという自覚を養うとともに、言語文化に親しもうという感覚を身に付ける。	・指導事項 故事成語から古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する ・教材 p. 146～p. 156 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクションシートの活用	○						7
定期考査		○	○	○	○	○	○	1	
								合計	48